

Iwaino Daichi

いわいの大地

農家と農業委員をつなぐ広報誌

砂鉄川より室根山を望む 撮影/農業委員 石川誠司

1月

No.32



特集

地域と農業を守る 集落営農

市内には、約40の営農組織があり、農家のおよそ3割が加入し、主食米作付面積では18%近くを占めるなど地域農業を守る体制づくりが進んでいます。今号ではそれぞれ特徴のある3法人を紹介します。



経営面積	177ha
組合員	340名



「農事組合法人」
おくたま農産

平成19年に法人化し市内の農業法人の先駆的存在。徹底した米生産コスト低減や六次産業化（手づくり味噌）等が認められ平成25年農林水産大臣賞を受賞。米だけに依存しない経営をめざし、飼料米、大豆、みそ麴、トマト、小菊など経営の多角化を図ってきた。農作業は、主に19名で行っているが、将来の担い手確保が課題。

いずれも地域と密接に係わりながら農地を守っていますが、役員の成り手がいない、交付金依存から脱却できない、農業は守れるが農業者をどう守るか、専従担い手の確保等多くの課題も抱えています。組合員と十分話し合い、行政との意思疎通を図り、各組織との情報交換が課題解決の二助なのかもしれません。

「農事組合法人」
なつかわファーム

花泉の油島、涌津、永井の3地区にまたがる県内でも最大規模の法人。地域農業の振興と米生産効率化を目的に基盤整備が始まり、それを機に、平成26年、3地区の集落営農組織を一本化した。稲作中心に飼料米、WCSなどを栽培し、将来、担い手を社員化して確保したいと考えている。カントリーエレベーターの建設が実現すれば、更なる生産販売力の向上につながると期待している。

経営面積	468ha
組合員	451名



「農事組合法人」
こがねファーム

南小梨営農組合が前身で、平成25年3月に法人化。直播栽培による低コスト化、昔ながらのハセ掛け体験、スイートコーンの詰め放題等、地域をあげた活動に取り組んでいる。見える組合活動を大切にし、広報紙「こがねファームだより」を発行。基盤整備事業への取り組み、将来の担い手の確保が課題となっている。



経営面積	71ha
組合員	123名



新年にあたり



一関市農業委員会
会長 伊藤 公夫

新年あけましておめでとうございます。皆様方には輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素より農業委員会の活動に対しては、ご理解とご協力をいただき、深く感謝を申し上げます。

昨年施行された改正農業委員会法では、農業委員の公選制が廃止され、新たに、農地利用最適化推進委員が設置され、農地利用の最適化として、担い手への農地利用の集積、遊休農地の発生防止と解消、新規参入の促進を推進していくこととなりました。

当市においても、平成30年9月には、新しい制度に基づく農業委員・推進委員が選任されるため、現在、委員定数や体制について協議を重ねているところであり、今号では、特集記事として農地利用の集積に向けた市内の取り組みを紹介しました。

私たち農業委員会は、かけがえのない農地を未来の世代に引き継ぐため、農業生産の基盤となる優良農地を守り、その有効活用を進めるなど、今後も農業者を代表する機関として様々な農業の問題に取り組んで参ります。

今年の豊作と皆様方のご多幸を祈念し、一層のご支援、ご指導、ご協力をお願い申し上げます。新年の挨拶といたします。



地元産の大豆で味噌づくり

工房あらたま ● 千厩地域

地域の家庭で使う味噌をつくってほしいと頼まれたことがきっかけでスタート。味噌のほかに米粉の加工へと研修を積んできましたが、現在は、味噌加工分野に力を入れ加工販売部の女性が一丸となって取り組んでいます。

女性メンバー12名は50代〜70代、年代の枠を超えて和気あいあいと加工作業から販売まで交代で行っています。原料の豆、米はおくたま農産で収穫したものを使用し、大豆の浸水、水切り、蒸煮の柔らかさ、硬さ、塩、種水の割合、適度な耐水食塩濃度など、工業技術センターの指導の下、基本を大切に、また味噌の要と言う麴づくりに細かい神経を注いで、

千厩町の農事組合法人おくたま農産の事務所隣に同法人の加工販売部「工房あらたま」があります。平成19年3月の法人設立から10年目、工房あらたまの活動は7年目を迎えます。リーダーは小山麗子さん、地域の女性12名で構成され、丹念な手づくり味噌は評判で年々実績を上げつつあります。

丁寧な仕込み作業を心掛けています。年明け1月から5月頃まで切り替え作業し、法人独自の熟成過程を経て販売にあたりますが、組合員の方をはじめ地元のスーパー、老人センター、学校給食センター、各種イベント、贈答品など広く喜ばれています。「仕込み量は、年々増え、平成28年は3,500kgになります」と話す加工販売部長小山麗子さんの笑顔はとても明るいものでした。

おくたま産大豆でつくった味噌や麴、また味噌づくりに興味のある方もご一報下さいと話す女性達の熱い意欲、地域で採れたものを地域で食す喜びをより多くの皆さんと分かち合う真心を感じました。



工房あらたまメンバーの皆さんと（農）おくたま農産代表理事組合長 佐藤正男さん（前列中央）

女性農業委員 リレー投稿

農業委員視察 研修に参加して



投稿 千葉孝子 委員

平成28年9月6日〜7日、山形県鶴岡市へ行ってきました。鶴岡市農業委員会を訪問し耕作放棄地対策の活動を研修しました。休耕田を借り受けて農地の再生に取り組んでいる(株)あつみ農地保全組合の受託事業や6次産業化に向け耕作放棄地の再生利用に取り組んでいる(株)ハグロファームの話を聞きました。

(株)あつみ農地保全組合は、地元JAと地域住民による出資法人で地域の休耕田を借り受け、そば、赤かぶ、わらび等の作付けをして31haを農地に再生し雇用確保にも成果を上げていました。

私は、特に、(株)ハグロファームが取り組んでいた月山高原牧場敷地内の耕作放棄地を「ひまわり」で再生させるプロジェクトについて興味をもちました。ひまわり畑約4ha(約100万本)、コスモス畑約2haは、8月初旬から、ひまわりの咲き始めに合わせ順次公開しており、東北一円だけでなく、遠くは関西からも3万人近い観光客が来場し定着しているとのこと。公開中は、かき氷や自家製ブドウジュース、玉こんにゃくも人気を集め、家族連れが写真を撮るなどにぎわっている様子に感動しました。

農業が、胃袋を満たすだけの産業ではなく、心を豊かにし、癒しを与える産業であってほしいことを願っている姿が印象的でした。

鶴岡市での研修は、あらためて今一度地元を見つめる良い機会となりました。私も地域での磐清水梅の里活動や農業委員活動に活かして頑張っていきたいと思います。

平成28年度

岩手県農業委員会大会が開催される



平成28年11月10日、都南文化会館で開催された平成28年度岩手県農業委員会大会へ会長ほか委員19名が参加し、この席上で一関市は、2名の委員と当委員会が「農業委員会等活動表彰（農業者年金部門）」「同表彰（全国農業新聞部門）」においてその普及活動により表彰されました。

農業委員会体制の強化に関する申し合わせ決議」「農業委員会活動の強化に関する申し合わせ決議」の議案を決議し大会宣言を採択しました。

大会は、「農業施策の充実に関する要請決議」「新しい

市長へ

「平成28年度農政課題にかかわる意見書」を提出

平成28年11月4日、農業委員会側は、伊藤公夫会長、永島幸一会長職務代理人、石川誠司農政専門委員長、千葉正紀同副委員長、渋谷皓農地専門委員長、佐藤繁同副委員長

地再生に主眼を置いていること、又ほだ木については焼却によらない形を検討していくなどが話されました。

意見要望の7項目は次のとおりです。

- ◆放射能汚染対策
- ◆担い手・経営対策
- ◆農地利用集積対策
- ◆遊休農地の発生防止・解消対策
- ◆活力ある地域振興に向けた対策
- ◆食の安全安心、食育の充実
- ◆農業委員会の体制整備

が、市側は、長田仁副市長、高橋農林部長、小崎農地林務課長が出席して各農業委員の意見要望をまとめた7項目からなる意見書を提出しました。主な事項は、放射能汚染対策、担い手への農地利用の集積、経営安定対策などです。

今後、市長と農業委員との意見交換の場を予定しています。



全国農業新聞の購読を！

農業委員会組織が協力して作成している新聞で、毎週金曜日発行しています。
●お申込みは、農業委員会または各支所産業経済課まで

購読料

月額 700円

新たに 農地利用最適化推進委員 を設置

シリーズ② 農業委員会法改正

今般の改正により、「農地利用の最適化」が農業委員会の必須業務として明確化されました。

最適化とは...

- ◆担い手への農地等の利用の集積・集約化
- ◆遊休農地の発生防止・解消
- ◆新規参入の促進

積極的に推進するため

農業委員とは別に、担当地域での現場活動を行う農地利用最適化推進委員が新設されます！

推進委員の選任方法

- 農業委員会が定める区域ごとに推薦・募集を実施
- 推薦・募集の情報を整理して、公表
- 推薦・募集の結果を尊重
- 選考委員会で選考
- 農業委員会が委嘱

※推進委員と農業委員は、兼務できません

推進委員の役割

- 担当地域において、
- 地域農業マスタープランなど、地域の農業者等の話し合いを推進
- 農地の出し手・受け手へのアプローチを行い、農地利用の集積・集約化を推進
- 遊休農地の発生防止・解消（農地パトロールなど）を推進

※推進委員は、総会に出席して意見を述べる事ができます

※改正法は、平成28年4月1日から施行されていますが、一関市の場合、現農業委員が、任期満了の日（平成30年9月19日）まで残任となります。



農業者年金で明るい将来計画!



年金のありがたさ 父親の受給で実感

【舞川地域】 佐藤 明延 さん

入しました。父芳郎さんも農業者年金に加入しており、受給開始目前となっています。明延さんに経営移譲をし、老齢年金よりも年金額の高い経営移譲年金を受給するため手続中です。

明延さんは、「年金を貰うありがたさを、受給目前の父親をとおし実感している。国民年金だけでは将来が不安。農業者年金は制度が複雑で分かりにくいと思っていたが、敬遠せず地域の農業委員などに相談し、将来に備えてほしい。」と話していました。

芳郎さんの経営移譲年金受給を機に本格的に農業経営に関わることとなった明延さん。貴重な地域の担い手としてこれからの活躍が期待されます。

一関市舞川の佐藤明延さん(35)は12年間勤めた会社を辞め、4年前に就農し、現在は父親の芳郎さん(64)と水稻5haを作っています。

農業に携わる芳郎さんの背中を見続け、いつか必ず農業を継ぐと考えていた明延さんは、充実した日々を送る半面、天候に左右され思うように作業できないなど試行錯誤の連続のようです。そのような時は、自身も構成員であるアグリパーク舞川のメンバーに相談し解決しています。

明延さんは、芳郎さんと家族経営協定を結ぶことで保険料の半分が国から補助されることを知り、平成26年から農業者年金に加



次の5項目のうち、いずれかに該当する場合は、農業経営を再開したとみなされ、経営移譲年金が支給停止になる場合がありますので、ご注意ください。

経営移譲年金の 受給権者(本人)の方で、

- ① 農業所得の納税申告をする
- ② 農業を営む法人の構成員になる
- ③ 後継者に貸している農地等の返還を受けたり、売却・転用・貸付けをする
- ④ 経営所得安定対策等交付金の申請をする
- ⑤ 農業共済に加入する

農業者年金のお問い合わせは
農業委員会またはお近くのJA窓口へ
電話 21-8692 (一関市農業委員会)

農地賃借料情報

平成27年1月から同年12月までに締結(公告)された賃借料における賃借料水準(10a当たり)は、以下のとおりとなっております。

① 田(水稻)の部(10a当たり)				
	平均額	最高額	最低額	データ数
一関・花泉地域	8,338円	13,167円	2,500円	2,731
大東・千厩・東山・室根・川崎・藤沢地域	7,017円	13,000円	2,400円	1,346

② 畑の部(10a当たり)				
	平均額	最高額	最低額	データ数
一関・花泉地域	4,867円	6,220円	2,144円	77
大東・千厩・東山・室根・川崎・藤沢地域	3,153円	5,000円	1,300円	104

備考

- 地域ごとに契約額が極端に高額、低額(平均値の1.7倍以上および0.3倍以下のもの)な実例をあらかじめ削除し全体集計しております。
- 賃借料が無料の使用貸借契約もありますが実例として含めておりません。
- 対象農地の収穫見込み量や形状、隣接する道水路等の状況を考慮し両者で協議の上決定してください。

「いわいの大地」編集委員会
 編集委員長 伊藤 修 勉
 副編集委員長 佐藤 修 勉
 編集委員 芳賀 武 郎
 芳賀 武 郎
 菅原 豊 一
 遠藤 勝 幸
 藤野 眞 喜
 佐藤 清 喜
 圭 一

ミックス
責任ある水産資源を
使用した紙
FSC® C103798

昨年、4月の熊本地震、8月には観測史上初めて東北の太平洋側に上陸した超強烈な台風10号、そして再三にわたる北海道地方の大水害と自然災害に見舞われた一年でした。岩手では岩泉や久慈方面に甚大な被害をもたらした、北海道でも農作物被害だけでなく耕地が流され、復旧には10年以上かかるかと…。農業は自然が相手、多くの恩恵を受けると同時に、時として災害の恐ろしさをまざまざと見せつけられます。被害に遭われた方々には、心から一日も早い復興をお祈り申し上げます。

そんな中でも、県産米の新品種「銀河のしずく」の市場デビュー、リオ五輪と岩手国体という2つのスポーツの祭典が明るい話題でした。はたして、2017年、平成29年はどんな一年となるのでしょうか。

中山間地域では高齢化と農地の荒廃化が進むばかりで、農を取り巻く環境は依然厳しいものですが、まずは新しい年、明るい農業の実現のため共に頑張りましょう。

編集委員 芳賀 武 郎

編集後記

